



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月14日

上場会社名 トレックス・セミコンダクター株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6616 URL <https://www.torex.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 芝宮 孝司
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画室 室長 (氏名) 前川 貴 TEL 03-6222-2875
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

百万円未満切捨て

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期第3四半期 | 25,083 | 9.4 | 4,289 | 48.1 | 4,268 | 44.9 | 2,973 | 45.4 |
| 2022年3月期第3四半期 | 22,920 | 33.5 | 2,897 | 317.6 | 2,946 | 459.9 | 2,044 | 426.6 |

（注）包括利益 2023年3月期第3四半期 3,154百万円（48.6%） 2022年3月期第3四半期 2,122百万円（619.6%）

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期第3四半期 | 271.27 | — |
| 2022年3月期第3四半期 | 186.88 | — |

（2）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2023年3月期第3四半期 | 38,271 | 25,468 | 66.5 | 2,315.70 |
| 2022年3月期 | 34,770 | 22,729 | 65.4 | 2,077.66 |

（参考）自己資本 2023年3月期第3四半期 25,468百万円 2022年3月期 22,729百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期 | — | 20.00 | — | 24.00 | 44.00 |
| 2023年3月期 | — | 28.00 | — | — | — |
| 2023年3月期（予想） | — | — | — | 28.00 | 56.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 33,000 | 6.9 | 5,000 | 28.3 | 5,000 | 21.2 | 3,500 | 10.9 | 318.23 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2023年3月期3Q | 11,554,200株 | 2022年3月期 | 11,554,200株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年3月期3Q | 556,124株 | 2022年3月期 | 614,377株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2023年3月期3Q | 10,961,761株 | 2022年3月期3Q | 10,939,871株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (セグメント情報等) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、世界的なインフレ進行に伴う金融引き締め継続と、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や中国でのゼロコロナ政策とその解除による混乱などにより、減速感が強まりました。日本経済においては、急激な円安から年末には一転して円高が進行するなどの激しい為替相場の変動や資源価格の高騰、電気料金の値上げなどにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属するエレクトロニクス市場におきましては、第3四半期に入り、PC需要の大幅な減少、世界経済の停滞懸念や中国でのロックダウン実施による生産の減速とこれらに伴う在庫調整が発生するなど、市場全体の減速傾向が鮮明になりました。

このような環境のなかで、当社グループは、経営理念にある「市場に適応した価値ある製品を創出し、豊かな社会の実現と地球環境の保全に貢献する」ため、電気機器の小型化・省電力化に「電源」の観点から取組み、収益力の強化と持続的な成長の実現に向けて、従業員の感染症対策としてテレワークや時差出勤などを徹底して講じつつ、以下の諸施策を継続的に推進してまいりました。

- ・当社東京技術センター、関西技術センター、及び米国R&Dセンターにおいて、マーケットインの発想に立脚した、差別化のできる高付加価値な汎用製品及びターゲット市場として注力する車載機器・産業機器に向け、特長ある製品を迅速に市場へ投入していくため開発活動を進めました。
- ・品質向上とコスト削減を両立させるべく、製品企画段階からのコスト分析の徹底、生産計画の効率化を進めるとともに、協力会社や製造子会社との協力体制を深め、同業他社に比して競争力のある製造コストと安定供給、納期対応の実現を進めました。
- ・営業活動においては、オンラインを活用しながら、各地域に密着した活動を継続し、顧客の要望や製品企画への迅速かつ柔軟な対応と営業基盤の維持に努めました。
- ・製品需要に対しては、中長期的に、世界的な半導体需要が継続することが予測されるため、生産力を確保すべく、海外の委託先へ設備投資をするとともに、長期生産委託契約を締結しました。
- ・当社のビジネスの成長を加速させるため、超低損失と低価格の両立が期待されるβ型酸化ガリウムを使用したパワーデバイスの開発を行う株式会社ノバルクリスタルテクノロジーと新製品開発に関し、様々なフェーズにおける活動を進め、連携を深めました。
- ・グループ収益の最大化につなげるため、フェニテックセミコンダクター株式会社とのシナジー効果を高め、共同プロジェクトを推進しました。
- ・フェニテックセミコンダクター株式会社においては、製品の長期・安定供給体制と競争力のある製品づくり及び生産性向上に加え、半導体需要の高まりに対応するため、岡山第2工場の岡山第1工場への統合作業の完了を延期し、岡山第2工場での生産を継続しながら、岡山第1工場・鹿児島工場において、更なる投資を進めております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高250億83百万円（前年同期比9.4%増）、営業利益42億89百万円（前年同期比48.1%増）、経常利益42億68百万円（前年同期比44.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益29億73百万円（前年同期比45.4%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①日本

当第3四半期連結累計期間における日本事業は、主に産業機器分野向けの売上が増加したことにより、売上高は169億47百万円（前年同期比9.9%増）、セグメント利益は35億97百万円（前年同期比43.1%増）となりました。

②アジア

当第3四半期連結累計期間におけるアジア事業は、主にAV機器分野向けの売上が減少したことにより、売上高は58億14百万円（前年同期比4.4%減）、セグメント利益は4億9百万円（前年同期比4.4%減）となりました。

③欧州

当第3四半期連結累計期間における欧州事業は、主に産業機器分野向けの売上が増加したことにより、売上高は14億76百万円（前年同期比80.7%増）、セグメント利益は2億41百万円（前年同期比151.6%増）となりました。

④北米

当第3四半期連結累計期間における北米事業は、主に産業機器分野向けの売上が増加したことにより、売上高は8億44百万円（前年同期比42.2%増）、セグメント利益は1億80百万円（前年同期比91.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は259億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億3百万円増加いたしました。増加の主な要因は、現金及び預金が6億10百万円減少し、また受取手形及び売掛金が3億91百万円減少したものの、将来の半導体需要に備えて棚卸資産が19億78百万円増加したことなどによるものであります。固定資産は122億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億97百万円増加いたしました。増加の主な要因は、当社子会社において製品の増産体制を構築すべく新規設備を導入したことにより、有形固定資産が24億87百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、総資産が382億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ35億1百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は74億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億73百万円減少いたしました。減少の主な要因は、法人税の納付により未払法人税等が8億49百万円減少したこと、また冬季賞与の支給により賞与引当金が4億10百万円減少したことなどによるものであります。固定負債は53億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億35百万円増加いたしました。増加の主な要因は、増産体制構築にかかる資金調達を主な目的として追加借入を行った結果、長期借入金が22億24百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、負債合計が128億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億62百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は254億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ27億39百万円増加いたしました。

この結果、自己資本比率は66.5%（前連結会計年度末は65.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日の「2022年3月期 決算短信[日本基準]（連結）」にて発表いたしました連結業績予想に変更はありません。

上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 10,219,751 | 9,609,135 |
| 受取手形及び売掛金 | 5,916,777 | 5,525,083 |
| 棚卸資産 | 8,197,630 | 10,176,146 |
| その他 | 552,662 | 680,075 |
| 貸倒引当金 | △6,373 | △6,069 |
| 流動資産合計 | 24,880,449 | 25,984,371 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 6,613,258 | 9,100,478 |
| 無形固定資産 | 777,120 | 640,414 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 2,528,505 | 2,577,954 |
| 貸倒引当金 | △29,015 | △31,454 |
| 投資その他の資産合計 | 2,499,489 | 2,546,500 |
| 固定資産合計 | 9,889,868 | 12,287,392 |
| 資産合計 | 34,770,317 | 38,271,764 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,720,227 | 1,360,106 |
| 短期借入金 | 2,400,000 | 1,900,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 950,000 | 1,518,504 |
| 未払法人税等 | 1,242,667 | 393,021 |
| 契約負債 | 30,044 | 2,042 |
| 賞与引当金 | 571,792 | 160,848 |
| 役員賞与引当金 | 45,000 | - |
| その他 | 2,017,741 | 2,069,531 |
| 流動負債合計 | 8,977,473 | 7,404,053 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | - | 100,000 |
| 長期借入金 | 2,412,500 | 4,636,516 |
| 退職給付に係る負債 | 383,131 | 387,453 |
| 株式給付引当金 | 75,883 | 79,631 |
| その他 | 192,052 | 195,777 |
| 固定負債合計 | 3,063,567 | 5,399,378 |
| 負債合計 | 12,041,040 | 12,803,432 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,967,934 | 2,967,934 |
| 資本剰余金 | 8,299,941 | 8,388,605 |
| 利益剰余金 | 11,817,830 | 14,216,419 |
| 自己株式 | △750,278 | △678,960 |
| 株主資本合計 | 22,335,428 | 24,893,999 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △111,934 | △72,788 |
| 為替換算調整勘定 | 353,682 | 505,831 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 152,101 | 141,290 |
| その他の包括利益累計額合計 | 393,849 | 574,332 |
| 純資産合計 | 22,729,277 | 25,468,332 |
| 負債純資産合計 | 34,770,317 | 38,271,764 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 22,920,727 | 25,083,475 |
| 売上原価 | 16,092,169 | 16,357,273 |
| 売上総利益 | 6,828,557 | 8,726,202 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,931,299 | 4,436,798 |
| 営業利益 | 2,897,257 | 4,289,403 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 18,126 | 26,155 |
| 為替差益 | 17,975 | — |
| ロイヤリティ収入 | 1,852 | 2,761 |
| 受取賃貸料 | 30,407 | 31,189 |
| その他 | 15,723 | 13,721 |
| 営業外収益合計 | 84,085 | 73,828 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 26,752 | 36,930 |
| 為替差損 | — | 47,842 |
| 支払手数料 | 6,000 | 6,000 |
| その他 | 2,279 | 3,845 |
| 営業外費用合計 | 35,032 | 94,618 |
| 経常利益 | 2,946,310 | 4,268,613 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 2,079 | — |
| 特別利益合計 | 2,079 | — |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 20,480 | 10,187 |
| 保険解約損 | — | 10,180 |
| 特別損失合計 | 20,480 | 20,368 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,927,910 | 4,248,245 |
| 法人税等 | 883,363 | 1,274,603 |
| 四半期純利益 | 2,044,547 | 2,973,641 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 2,044,547 | 2,973,641 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 2,044,547 | 2,973,641 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △19,283 | 39,146 |
| 為替換算調整勘定 | 109,636 | 152,148 |
| 退職給付に係る調整額 | △12,095 | △10,810 |
| その他の包括利益合計 | 78,257 | 180,483 |
| 四半期包括利益 | 2,122,804 | 3,154,125 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 2,122,804 | 3,154,125 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 |
|-------------------|------------|-----------|---------|---------|------------|-------------|-----------------------|
| | 日本 | アジア | 欧州 | 北米 | 合計 | | |
| 売上高(注2) | | | | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 15,426,157 | 6,083,155 | 817,301 | 594,113 | 22,920,727 | — | 22,920,727 |
| 外部顧客への売上高 | 15,426,157 | 6,083,155 | 817,301 | 594,113 | 22,920,727 | — | 22,920,727 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 6,526,693 | 425,800 | 30,718 | 46,846 | 7,030,059 | △7,030,059 | — |
| 計 | 21,952,850 | 6,508,956 | 848,019 | 640,959 | 29,950,786 | △7,030,059 | 22,920,727 |
| セグメント利益 | 2,514,148 | 428,175 | 95,920 | 94,522 | 3,132,767 | △235,509 | 2,897,257 |

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。調整額△235,509千円には、セグメント間取引消去△235,509千円が含まれております。

2. 当社は、当社の製品を搭載した電子機器等が企画・設計され、実質的に受注を獲得した地域(デザイン・イン・ベース)の売上高を基にした指標も加味して事業戦略上の意思決定を行っております。デザイン・イン・ベースで集計した売上高は以下のとおりとなります。

(デザイン・イン・ベースの売上高)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | |
|-----|------------|-----------|-----------|-----------|------------|
| | 日本 | アジア | 欧州 | 北米 | 合計 |
| 売上高 | 16,495,524 | 4,110,496 | 1,255,903 | 1,058,803 | 22,920,727 |

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 |
|------------------------------|------------|-----------|-----------|---------|------------|-------------|-----------------------|
| | 日本 | アジア | 欧州 | 北米 | 合計 | | |
| 売上高(注2) 顧客との契約から生じ る収益 | 16,947,172 | 5,814,713 | 1,476,956 | 844,632 | 25,083,475 | — | 25,083,475 |
| 外部顧客への売上高 | 16,947,172 | 5,814,713 | 1,476,956 | 844,632 | 25,083,475 | — | 25,083,475 |
| セグメント間の内部売 上高又は振替高 | 6,689,876 | 439,477 | 35,413 | 43,076 | 7,207,844 | △7,207,844 | — |
| 計 | 23,637,048 | 6,254,191 | 1,512,370 | 887,709 | 32,291,320 | △7,207,844 | 25,083,475 |
| セグメント利益 | 3,597,999 | 409,311 | 241,305 | 180,901 | 4,429,517 | △140,113 | 4,289,403 |

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。調整額△140,113千円には、セグメント間取引消去△140,113千円が含まれております。

2. 当社は、当社の製品を搭載した電子機器等が企画・設計され、実質的に受注を獲得した地域(デザイン・イン・ベース)の売上高を基にした指標も加味して事業戦略上の意思決定を行っております。デザイン・イン・ベースで集計した売上高は以下のとおりとなります。

(デザイン・イン・ベースの売上高)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | |
|-----|------------|-----------|-----------|-----------|------------|
| | 日本 | アジア | 欧州 | 北米 | 合計 |
| 売上高 | 17,795,859 | 3,990,857 | 2,000,434 | 1,296,324 | 25,083,475 |